

交通機関

成田国際空港 第2旅客ターミナルビル 「NARITA SKY LOUNGE 和」内 「GALLERY TOTO」

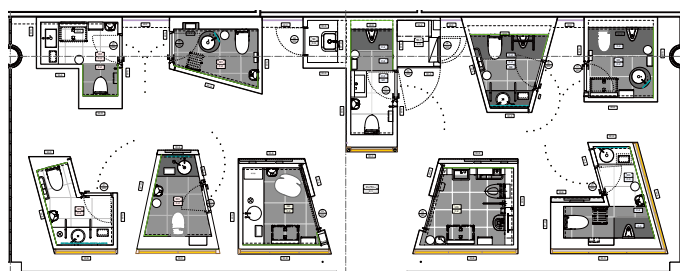
成田国際空港株式会社

日本のトイレ文化・技術力を 世界に発信

- ・日本の玄関口である成田国際空港において、日本のトイレ文化・技術力を世界に発信していく「ギャラリー型トイレ」。
- ・出国手続後のエリアに設置。
- ・男女4か所ずつの内装の異なるブースのほか、多機能トイレと授乳室を有する。各ブースごとに大便器、洗面台、ハンドドライヤーを設置。
- ・便器はTOTO(株)の最新型。節水機能、清潔機能が特徴。
- ・トイレ外周3方をガラスで覆い、トイレブースの壁面にはLEDパネルを設置、トイレライフ、水、旅、空港などをモチーフにしたダイナミックな映像を表示。

●施設所在地:千葉県成田市古込 ●設計:クライン・ダイサム・アーキテクト

 日本トイレ大賞



東京国際空港(羽田) 国際線旅客ターミナル

東京国際空港ターミナル株式会社

様々な人が利用しやすい ユニバーサルデザイントイレ

- ・障害者団体の利用を想定し、多機能トイレはもちろん、一般のトイレも利用できるよう、トイレ内通路に車椅子同士でもすれ違える十二分な寸法を確保。
- ・弱視者でも区別が付きやすいよう、器具と内装材のコントラストに配慮。
- ・扉の表裏の色を変えることで、鍵表示に頼らない利用状況の把握が可能。
- ・外国人や子供など、あらゆる人に分かりやすい出入口サイン。
- ・補助犬専用のトイレをターミナル内に設置。

●施設所在地:東京都大田区羽田空港 ●設計:梓・安井・PCPJ東京国際空港国際線旅客ターミナル設計監理共同企業体

 日本トイレ大賞



大阪市営地下鉄御堂筋線 新大阪駅

大阪市交通局

広々とした「くつろぎの空間」を実現

- ・ガゼボ(西洋風あずまや)をイメージした、安らぎ・ゆとりを感じることでできる空間。
- ・通常よりブースを広めに設定。また、車椅子対応やオストメイト(P.16)対応トイレの設置により、多機能トイレが混んでいる場合でも使用可能に。
- ・パウダーコーナーは、トイレコーナーと動線が重ならない独立した空間。長距離移動者等に配慮し、フィッティングスペースも設置。
- ・清掃性の高い小便器、幅木脱臭の設置等による清潔な空間の維持。清掃方法も水洗いから乾式に変更。

●施設所在地:大阪府大阪市淀川区西中島

●設計:大阪市交通局建築部 建築施設課

日本トイレ大賞



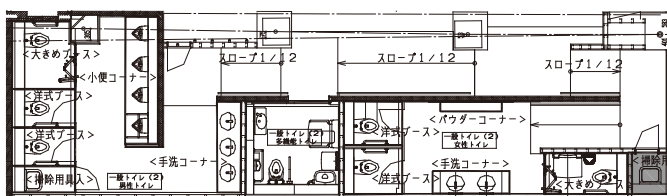
東京地下鉄東西線 日本橋駅

東京地下鉄株式会社

現代の日本橋にふさわしい機能とデザインを両立

- ・地下という狭い空間の中で快適なトイレ整備を進めるべく、トイレの検討会を開催して課題を抽出。
- ・おむつ交換台、パウダーコーナーを設置。パウダーコーナーは化粧台の高さにバリエーションを持たせることで選択することのできる仕様。
- ・閉鎖感を解消するために、照明の改善や壁面を透明感のあるガラス仕上げにするなど、開放感のあるデザインに。

●施設所在地:東京都中央区日本橋 ●設計:(有)設計事務所ゴンドラ



北陸新幹線 富山駅

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

地域の伝統を取り入れた障害者にもやさしいトイレ

- ・トイレ入口に地元の伝統工芸品(和紙)を取り入れた案内サインを設置。
- ・設計・施工段階で、地域の障害者団体と意見交換会を開催し、様々な意見を活用。多機能トイレを2ブース設置し、異常時用フラッシュランプ、視覚障害者用の触知案内板等を設置。
- ・子供用トイレやベビーチェアの設置など子供連れへ配慮。また、擬音装置、パウダーコーナー、フィッティングボードも設置し、女性にも配慮。

●施設所在地:富山県富山市明輪町 ●設計:(独)鉄道・運輸機構、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)

新東名高速道路

ネオパーサ

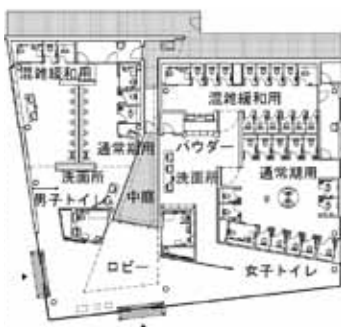
NEOPASA清水

中日本高速道路株式会社 東京支社

トイレの最適便器数を決定する方法論を開発

・高速のSA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)等の休憩施設に設置されるトイレは、一般の公共トイレとは特性が異なり、一旦高速に入ると外に出るまで休憩施設を利用するほかに排せつの手段はなく、トイレの整備状況が利用者の行動の制約条件となるため、快適・便利で楽しく美しい、オアシス的な空間を提供。

・道路の特性の似た新東名・東名高速道路の休憩施設では、週末及び繁忙期における待ち行列が常態化。これを受け、利用実態調査の結果等から利用客の諸特性を整理し、利用客の到着確率とトイレの待ち行列発生過程を予測することで、最適便器数を決定する方法論を開発。NEOPASA清水を始めとする新東名・東名高速道路のSA・PAの最適便器数算出に適用。また、空きブースに利用客を誘導しやすい空間設計とすることとも合わせ、行列を解消。



●施設所在地：静岡県静岡市清水区小河内
●設計：(株)浦野設計、高橋建築都市デザイン事務所、(有)設計事務所ゴンドラ

日本トイレ大賞



新東名高速道路

するがわんめまつ

NEOPASA駿河湾沼津(上り線)

プレミアムトイレ

中日本高速道路株式会社 東京支社

「わざわざ行ってみたくなる」トイレを追求

・新東名で唯一海を見渡せる場所であるため、広域から人・モノが集う港町を思わせる外観デザインで、観光客がゆったりと過ごせる空間づくりを実施。海を眺望できるのは2階テラスであることから、2階に誘客するため、社内に女性ワーキンググループを設け、「わざわざ行ってみたくなる」女性トイレを検討し、2階に配置。

・動線は、利用者がトイレ～洗面台～パウダーコーナーへと自然に一方通行で流れていくよう工夫。女性の方がトイレの利用時間が長いことから、男女トイレ前にベンチ等を設置した待合室を配置し、男性が待つための快適なスペースを確保。

・オストメイト(P.16)対応設備を備えた多機能トイレや授乳室のほか、誰でも子供に付き添えるよう、子供用トイレを男女それぞれのトイレ内に設置。

●施設所在地：静岡県沼津市根古屋 ●設計：中日本高速道路(株)東京支社 女性若手WG(実施設設計・協力：三菱地所設計(株))



東名高速道路 ^{あしたか} 愛鷹PA(上下線)

中日本高速道路株式会社 東京支社

上りは「海」、下りは「山」がコンセプト

・1日約2,000台の車が立ち寄るPA。眺望に恵まれ、平日はトラックドライバー、休日は団体観光客が多い特徴を考慮し、自然を感じ運転の疲れを癒す空間をコンセプトに改修。
・トイレ入口付近に待合と交通情報提供スペース、ロビー奥に運転の疲れを癒す眺望スペースを配置。
・バス到着時に利用者が極值的に増加する高速のトイレの特性を踏まえ、混雑対策として、各ブースの利用状況をリアルタイムに電光表示する利用案内表示板と利用中ランプを設置。利用者がほほいしない時間帯もあるため、閑散時の利用が特定のブースに偏らないよう、利用を分散させる視線誘導サインを設置。

●施設所在地:静岡県沼津市宮本 ●設計:黒川紀章建築都市設計事務所(1969年開通時)、(株)協和コンサルタンツ(改修時)



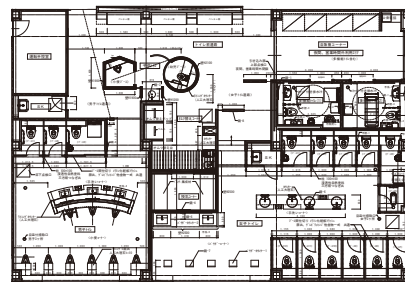
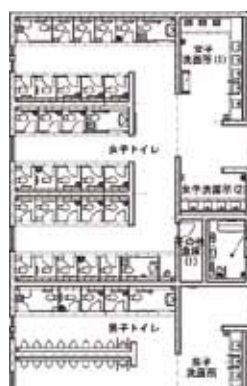
中央自動車道 ^{たんごうざか} 談合坂SA(下り線)

中日本高速道路株式会社 八王子支社

再生水利用に加え自家発電設備を設置した災害に強いトイレ

・都内を出て最初のSAであることもあり、1日の立寄人数は、平均で平日6,000人、休日1万人と、中央自動車道でも有数の利用者数。
・不特定多数の利用者のため、ピクトサイン・多言語での案内、ベビーチェア、おむつ交換台のブース内設置、オストメイト(P.16)対応の多機能トイレ等を整備。
・再生水を利用することに加え、自家発電設備を設置。停電・断水時にも利用できる災害に強いトイレとして整備。
・不要な混乱・混雑への対策として女性トイレの入口に満空表示板を設置。

●施設所在地:山梨県上野原市野田尻 ●設計:(株)ピーエーシー技術士事務所、(株)テクナム、(有)アーク設計



道の駅 パティオにいがた

新潟県見附市

ゆったりスペースを確保した開放空間

・「道の駅」のトイレは、24時間使用できることが設置の条件で、最も重要な機能であるため、トイレを入口に近い場所かつ建物の中心に設置し、他の施設をその周辺に配置。建物の設計のテーマでもある「開放空間」づくりを、トイレにも適用。

・男女のトイレそれぞれにおいて、大きなガラス戸の先に坪庭をデザイン。また、壁材には県産材の「越後杉」を多用し、トイレのサインには地域の伝統行事である大仏合戦を取り入れるなど、地域性も重視。たくさんの自然光、坪庭の景観、優しい木の温もりが、開放的でいつまでも居たくなるような心地良い空間を創出。

●施設所在地:新潟県見附市今町
●設計:【基本】(有)設計事務所 Gondra、【実施】(株)理建設計

日本トイレ大賞